



「三本の矢」の強さ

～温もりに満ちた学校へ～



校長室だより 4月号
2024. 4. 30
＜不撓不屈の芦中生＞
・思いやりと温かな心
・言葉で伝え心で聴く
・自ら主体的に行動

新しい仲間、新しい学年で 自分はどうかりたいか

新しいメンバーで始まった令和6年度。この1か月、みなさんはどのように過ごしてきましたか？「何が」とははっきりわからないけど、先月までとは明らかに違う雰囲気の中、緊張感を覚えながらスタートを切り、気がつけばもう4月最後の日を迎えている…という感じではないでしょうか。



いろいろなことで慌ただしく過ごしてきたために、もしかしたら、「自分は（自分たちは）昨年度と何も変わっていないのではないか」と感じている人もいるかもしれません。

でも、そうではありません。みなさんはもう昨年度とは違っていています。集会での姿や、廊下から見る授業中の2.3年生の様子は、昨年度までの1.2年生のそれとは



明らかに違っていています。これは、多くの人々が意識を持って新学年を過ごそうとしているということです。そして、この変化は、みな

さんが昨年度の3学期を「今年度の0学期」として、意識をもって取り組んできた成果だと思えます。本当に素晴らしいことです。

中学校3年間というのは、自分の生き方に大きく影響を与えます。中学生として、

学校生活に取り組んでいる時には、なかなかそこまで意識していないと思います。私が自分の中学生の時のことを思い出して



ても、そこまで将来のことを意識して過ごしていなかったと思います。つらいことを頑張って乗り越える

ことができた経験もありますが、「あのときこうすればよかった」「あの教科をもっとしっかり勉強すればよかった」という反省の多くは、私の場合、中学校時代に多く存在します。おそらく、「自分の生き方に関わる」ということの意味を、私は理解していなかったのだと思います。みなさんには、私のように、振り返って反省の多い中学校生活ではなく、自分の将来を輝かせるために、充実した毎日を送ってほしいと願っています。

令和6年度生徒会目標

芦中の3本の矢

～ 絆 信 極 ～

今年の生徒会目標です。生徒総会で生徒会長の松本君から説明がありましたね。戦国武将の毛利元就もうり もとなりが発した教訓からの逸話とされています。1本では弱い矢も、3本束ねると強くなる。すなわち協力、結束すれば大きな力が生まれるという教えです。芦中では、その3本にそれぞれ意味を持たせています。みんなの力を結集して、よりよい芦中をつくっていきましょう！（この校長室だよりの題名もここから取りました）